

日本獣医動物行動研究会
第4回 総会資料

総会議題

- 1号議案 2017年次事業報告
- 2号議案 2017年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 2018年次事業計画（案）
- 5号議案 2018年次予算（案）
- 6号議案 役員改選について
- その他

日時：2018年2月16（金）午後4時45分～6時5分

場所：東京大学農学部弥生講堂アネックス

1号議案 2017年次事業報告

会員数 正会員 216 名 (2017年12月31日現在)

・退会会員 12名 (依願退会 2名、2年会費未納による自動退会 10名、)

・新入会員 37名

<会議関連>

- 総会

2月17日 @東大 出席 30名 委任状提出 99名

- 幹事会

2月17日 @東大 出席 12名 (委任状提出 5名)

- 執行委員会

1月20日 臨時第一回

2月17日 定例第一回@東大 幹事会と合同

4月28日 定例第二回 Web 会議

6月29日 定例第三回 Web 会議

9月28日 定例第四回 Web 会議

11月30日 定例第五回 Web 会議

<認定医試験委員会>

第5回 獣医行動診療科認定医試験

9月1日 @東京大学

受験者 4名 合格者 1名 不合格者 3名 (書類審査通過者 3名)

<卒後教育委員会>

2月17日 第3回教育セミナー @東京大学 参加者 43名

「猫の問題行動」 症例紹介

講師 白井春佳 家族に対する攻撃行動

講師 和田美帆 夜鳴き

「AVSAB2016 ダイジェスト」

講師 荒田明香

2月18日 @パシフィコ横浜 第13回 獣医内科学アカデミーに協賛

「日本獣医動物行動研究会企画」診療に活かせる猫の行動学

モデレーター 武内ゆかり

- 講師 村田香織 子猫の行動学と子猫教室
講師 南佳子 ネコ診療への行動学的アドバイス
講師 藤井仁美 ネコの病気と行動学の関連
8月31日 第3回ベーシックセミナー @東京大学 参加者15名(会員15名)
講師 荒田明香、和田美帆
11月17日 第4回ベーシックセミナー① @大阪国際会議場
(動臨研ナイトセミナーとして開催) 参加者約25名(会員、幹事を含む)
講師 荒田明香

<実践教育委員会>

e-mailによる個人症例相談 5件

回答担当 白井春佳1、近藤悦子1、藤井仁美1 (以上相談終了)
和田美帆2 (現在相談中)

3月18日 第4回オンライン症例検討会

「家族を怖がる猫について」

Facilitator: 尾形庭子 補助: 白井春佳

参加者 15名(発言希望10 オブザーバー希望5)

7月17日 第3回オフライン症例検討会 @日本獣医生命科学大学

「犬における家族に対する攻撃行動」

Facilitator 水越美奈 補助: 藤井仁美

参加者 21名(全員発言)

8月26日 第5回オンライン症例検討会

「犬における家族に対する攻撃行動」

Facilitator: 藤井仁美 補助: 白井春佳

参加者 14名(発言希望4 一部のみ発言希望10)

12月1日 第6回オンライン症例検討会

「犬における家族に対する攻撃行動」

Facilitator: 白井春佳 補助: 藤井仁美

参加者 15名(発言希望8 オブザーバー希望7)

<編集委員会>

3月20日 ニュースレターNo5 発行

6月25日 ニュースレターNo6 発行

9月27日 ニュースレターNo7 発行

12月27日 ニュースレターNo8 発行

2号議案 2017年次決算報告

収入		予算案	実績	差額	備考
収入合計		1,893,642	2,009,647	121,005	
会費収入	年会費	950,000	970,000	20,000	216名（納付率88.9% 未納者24名）
事業収入	セミナー等	250,000	270,000	20,000	ベーシックセミナー（8/31）7,500×15名 症例検討会（7/17）7,500×21名
	Web事業	100,000	191,000	91,000	症例検討会（3/18）4,000×15名 症例検討会（8/26）4,000×14名 症例検討会（12/1）5,000×15名
	認定医受験料	50,000	40,000	-10,000	10,000×4名
	雑収入	5,000	5	-4,995	銀行利子
繰越金		538,642	538,642		

支出		予算案	実績	差額	備考
支出合計		1,893,642	1,042,831	850,811	
	Web管理料等	192,651	192,651	0	サーバー・ドメイン使用料、WebEx年間ライセンス料等
	謝礼等	600,000	304,000	-296,000	講師謝礼、試験監督謝礼等
	旅費	600,000	234,050	-365,950	会議（幹事・執行委員）旅費、講師旅費
	事務局費	150,000	130,444	-19,556	会場費、講師親睦会費、電話代金、領収書購入、振込手数料など
	会議費	50,000	16,686	-33,314	会議時の飲み物・弁当など
	会計管理費（外部委託）	150,000	150,000	0	
	アルバイト代	50,000	6,000	-44,000	@1000×6時間
	予備費	100,991	0	-100,991	

収入実績 (2,009,647) - 支出実績 (1,042,831) = 翌年度繰越金 (966,816)

3号議案 監査報告

2017年度の事業実施状況および会計事務処理状況について、議事録、帳簿ならびに証拠書類等により監査した結果、いずれも適性に実施・処理されていることを確認しましたので報告いたします。

2018年2月15日

日本獣医動物行動研究会 会長 武内ゆかり 様

監査 小暮規夫 印

監査 武部正美 印

4号議案 2018年次事業計画（案）

本日の6号議案成立後、委員会改造計画等があるので、すでに決まっている部分を記載したが変更の可能性あり。

<認定医試験委員会>

第6回 獣医行動診療科認定医試験

9月5日 @東京大学

<卒後教育委員会>

2月16日 第4回教育セミナー @東京大学

犬の攻撃行動（パネルディスカッション）

2月16日 認定医を目指す獣医師向けセミナー @東京大学

講師 水越美奈

2月17日 @パシフィコ横浜 第14回 獣医内科学アカデミーに協賛

「日本獣医動物行動研究会企画」猫の外傷性脱毛

講師：永田雅彦、白井春佳、入交眞巳

モデレーター：武内ゆかり

9月4日 @東京大学

第5回ベーシックセミナー 講師 未定

11月 @大阪

第6回ベーシックセミナー 講師 未定

<実践教育委員会>

e-mailによる個人症例相談

5月中旬 第7回オンライン症例検討会

日程未定 オンライン症例検討会 2回程度

日程・場所未定 オフライン症例検討委員会 2回程度

<編集委員会>

ニュースレターNo9～12を発行予定

5号議案 2018年次予算（案）

収入		2017年実績	予算	備考
収入合計		2,009,647	2,736,821	
会費収入	年会費	970,000	1,170,000	234名
事業収入	セミナー等	270,000	250,000	オフラインセミナー（ベーシックセミナー・症例検討会等）
	Web事業	191,000	250,000	Webセミナー（ベーシックセミナー・症例検討会等）
	認定医受験料	40,000	100,000	10,000×10名
	雑収入	5	5	銀行利子
繰越金		538,642	966,816	

支出		2017年実績	予算	備考
支出合計		1,042,831	2,736,821	
Web管理料等		192,651	500,000	サーバー・ドメイン使用料、WebEx年間ライセンス料等
謝礼等		304,000	700,000	講師謝礼、試験監督謝礼等
旅費		234,050	500,000	会議（幹事・執行委員）旅費、講師旅費等
事務局費		130,444	200,000	会場費、講師親睦会費、電話代金、領収書購入、振込手数料など
会議費		16,686	50,000	会議時の飲み物・弁当等
会計管理費（外部委託）		150,000	150,000	
アルバイト代		6,000	100,000	

予備費	0	536,821	

6号議案 役員改選について

幹事候補者（五十音順 下線は新候補者）計 15 名

- ・ 荒田明香
- ・ 内田恵子
- ・ 尾形庭子
- ・ 奥田順之
- ・ 北村優
- ・ 吉川綾
- ・ 近藤悦子
- ・ 佐藤昭司
- ・ 白井春佳
- ・ 武内ゆかり
- ・ 村田香織
- ・ 藤井仁美
- ・ 水越美奈
- ・ 南佳子
- ・ 和田美帆

会長候補者（幹事推薦）：武内ゆかり

副会長候補者（会長推薦）：藤井仁美・水越美奈

事務局長（会長推薦）：内田恵子

執行委員（会長推薦）：荒田明香、内田恵子、奥田順之、近藤悦子、白井春佳、武内ゆかり、村田香織、藤井仁美、水越美奈、和田美帆

監事（会長推薦）：臼井玲子、柿沼綾子

その他

- ・会費納入促進月の導入について：会費納入月を6月としたい。
- ・NHK 放送番組「プロフェッショナル」に対する研究会対応について

① 「体罰に反対する声明文」の採択とHPに掲載する件

以下の文章を3月1日に研究会HPに掲載すると同時に下記③に示すプレスリリースの原稿とする。

＜声明文＞

日本獣医動物行動研究会は、飼い主、トレーナー、獣医師など動物にかかわる人が、家庭動物のしつけや行動修正のために「体罰」を用いること、またこれを推奨する行為に反対します。

体罰は一種の暴力であり、動物福祉を侵害する行為です。動物は体罰を受けることにより身体的だけではなく精神的な苦痛をも感じます。

私たちは、体罰に依ることなく科学的な根拠に基づき、動物福祉にかなった効果的で持続性があるしつけや行動修正の手法を開発・研究し続けること、それらを社会に発信・啓発し続けることに邁進します。

② 声明を補うための情報提供資料とHP上に掲載する件

資料1) 体罰とはなんですか

資料2) 体罰はなぜいけないのでしょうか

資料3) 推奨する行動修正の手法は、次の通りです

資料4) 動物福祉の指標「Five Freedoms」は、次の通りです

資料5) 問題行動の予防のためにできることは、以下の通りです

資料6) 問題行動を持った動物の飼い主さんができることは、次の通りです

資料7) 問題行動を相談された獣医師ができることは、次の通りです

これらの資料について、2月16日～20日に会員の皆様からご意見を頂戴する、2月21日から24日に担当認定医がご意見を反映させた文章を練る、25日から28日に会長が用語統一を含め体裁を整える作業を行い、3月1日に研究会HPに掲載すると同時に下記③に示すプレスリリースの原稿とする。

③ プレスリリースと取材対応に関する件

プレスリリースの内容について

- ・ 日本獣医動物行動研究会について
- ・ 声明文発表の経緯
- ・ 体罰に反対する声明文
- ・ 声明を補うための情報提供資料
- ・ 動物福祉に対する責任ある報道姿勢に関するお願い
- ・ 本内容に対する問い合わせ先について

(実際のリリース原稿については会長に一任)

リリース先

- ・ 新聞社各社
- ・ テレビ局
- ・ 獣医系雑誌出版各社
- ・ 愛犬雑誌出版各社

問い合わせ先（対応担当者）

- ・ 新聞各社 会長（但し地方紙については近郊在住の幹事）
- ・ テレビ局 会長
- ・ 獣医系雑誌出版各社 会長
- ・ 愛犬雑誌出版各社 副会長（水越）